

谷口博文の政策イノベーション



何のため？ 大企業のマインドセット

多くの企業でアクセラレータプログラムやスタートアップとの連携事業が行われています。しかしあまりうまく行ってません。たとえば・・・

形だけのワークショップになっていて、「面白かった」で終わってしまう。参加者は盛り上がるが、組織にもちかえると立ち消え、先送り。トップはやれというが担当部局は他を優先して動かない、などなど・・・

大企業は何のためにスタートアップと連携するのか。

本来は新しい価値を創造し、世界を変える破壊的イノベーションを目指すもの。しかし多くは従来顧客のためのサービス改善だったり、顧客の囲い込み手段だったりするだけ。新規事業も従来ビジネスを蚕食しないことが大前提です。

企業内にどんなすばらしい名前の組織を作っても、当事者に本家のビジネスを無用の長物にするような新しいビジネスを創る覚悟がなければ、所詮持続的イノベーションにすぎません。しかし組織人に自己否定的意思決定を求めるのは難しいですね。だからこそ生き残りをかけているトップの危機感がどのくらい組織全体に浸透しているかが鍵となるのです。本来この世界は組織ではなく個人。だから政府の知財戦略本部が出した報告書の題名は面白い！

「ワタシから始めるオープンイノベーション」

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/190621/sankou.pdf>